

平成 27 年 6 月 5 日

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（6 月期）

【出席者】(敬称略)

石橋、石丸、沖津、片桐、木村、葉木、坂内、森、澤野委員長、事務局天寺

1. 森副委員長より挨拶

火山噴火や地震が多発。いよいよかという心構えが必要。また、最近神奈川県が被害想定を出した。これまでの南関東地震という名称が「大正型関東地震」と変えて発表された。被害がこれまでの数より大きく想定されている。秦野に関しては 4 倍の被害想定。色々と検討が必要だと思う。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別紙資料「2015 年 5 月防災とボランティア事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公社) SL 災害ボランティアネットワーク報告

別紙資料「運営委員会 議事」参照

- ・ 船橋市国際交流協会の参加締め切りは 6 月 10 日。当日は、受入れ担当として片桐さんは 10 時までにそなエリアへ来ている。外国人用お米 5 キロも先に用意しておく。
- ・ 6 月 18 日の応急部会で最終的な細かい役割分担をして、参加者にはハガキにて持ち物等の連絡を行う。
- ・ 三角テントのペグについて、坂内さんが所有するペグは次の通り。座間と相談の上、分担を決める。
 スチールペグ (L 型 20 cm) 20 本、丸型 30 cm)6 本、スクリュペグ (30 cm) 12 本
 鍛造スチール (30 cm) 6 本 (20 cm) 16 本 計 60 本
- ・ ハンマーについては坂内さん 3 本。石橋さん 3 本。江間さん 1 本。のこり 4 本不足 応急部会で調整する。

4. 各地域の活動報告

<千葉県> (片桐 / 石橋)

▶ 県ネット

- ・ 5 月 23 日～24 日福島県視察研修を実施。30 名参加。南相馬小高地区災害 VC の松本さんの話、南相馬市立病院の医師から放射能のお話。浪江町帰還困難区域へ職員と一緒に入る。3.11 の翌日のままの状態に参加者が声を失った。職員から「このまま風化されていってしまう」という危機感や「原発事故による 4 年間の空白は本当に痛手」であるという話。「何よりつらいのは国からの放射能に関する情報が一切なかったのが、放射能値の高い地域へと町民を避難させてしまったことが悔やまれる」というお話。案内をしてくれたのは 30 代の若い職員。故郷がこういう状況なので町に戻って仕事をしようと思ったとのこと。
- ・ また、市立病院の医師からは、健康被害をこれから 30 年 40 年も継続して検査し、科学的データを蓄えていかなければならないという話を聞いた。(片桐)
- ・ 活字にできない話を聞いた「放射性ブルーム (放射性雲; 原発事故などにより飛散した微細な放射性物質が、大気に乗って煙のように流れていく現象を指す語/Weblio 辞書より)」

浪江町が放射能で帰宅困難区域にされたのは偶然にすぎない。たまたま、震災翌日、福島に雨が降ったので、放射性物質が土壌を汚染した。もし千葉や東京で雨が降っていたら、千葉県も全民避難、東京都も全都民避難となっていたかもしれない。そういう意味でもこの事故を福島だけの問題ではなく、日本全体の問題として対応して欲しいという話を聞いた。(石橋)

▶ 千葉中央ネット

- ・ 添付資料のとおり (HP には掲載していません)

< 神奈川 >

▶ 神奈川県 の 動向 (森)

- ・ 今年のビッグレスキュー (厚木/県スポーツセンター) で災害 VC 訓練を実施。SL 展示の話はなくなった。
- ・ 防災ギャザリングについては、2018 年 5 月 14 日に実施予定。これまでの 1 月から 5 月に恒久移動。

▶ 横浜ネット

- ・ SL 横浜ネットの HP を作成した。社団の HP にリンクを張る。
- ・ 運営委員会の議事を HP に掲載して欲しい 可能な範囲で掲載することにする。
- ・ 7/18~19 三浦市キャンプについては横浜ネットに呼びかけ、協力する。

▶ 西湘ネット (石丸)

- ・ 7 月 7 日西湘ネットで初会合が開かれる。
- ・ 秦野の動きとして ; 7 月 4 日防災体験講座を計画。秦野災害 V メンバーだけでは手が足りないのので、一般の参加者からメンバーを募集して裏方も手伝ってもらうことにしている。その他、公民館を借りてサロンで応急手当なども講習。同じ内容を 11 月 14 日にも実施する。

▶ 藤沢市 (葉木)

- ・ 防災ラジオ頒布の状況報告。8200 台購入のうち 3300 台を浸水区域の住民が買った。残りは浸水区域外が購入。
- ・ 要支援者名簿について、災害時には名簿情報を町内に渡すというが、町内の誰に渡すのか、誰が受け取りに行くのかが問題となっている。自治会長の代わりに名簿をもらいにくるような成りすましの危険をはらんでおり、この点を他の地域と比較精査して福祉部会でも整理する予定。

5. 各部会の活動報告

- ▶ 福祉部会...7/26 10:00~12:00 「精神障害がある方の対応」の講演会を実施する (定員 40 名) 参加費は 500 円とする。6 月のニューズレターにて広報予定。
- ▶ 情報部会...5/22 そなエリア見学 72 時間体験と自治体総合フェアに参加した。
- ▶ 応急部会...6/28 訓練の打合せ。

6. その他情報提供

- ・ 13 土業団体による復興まちづくりシンポジウムのチラシ「7 月 17 日 (金) 専門家と共に考える災害への備え」参加希望者はチラシ裏面から申込みをお願いしたい。(HP には掲載していません)

【次回の開催日】 7 月 3 日 (金) 13 時 30 分 ~

2015年5月の事業報告と今後の予定

(6月5日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

全体事項

- その1 地震、火山、気候の何かがおかしいという不安と防災対策
- その2 火山、気象の公表データの活用。
- その3 地球温暖化対策の遅れ 実は増え続けている温室効果ガス

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・安保保障関連法案 閣議決定 5/15

1-2 災害,大規模事故分野

[国内]

ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, M6.5以上、関東は震度4以上)

- ・5/25 M5.5 埼玉県北部 約60km 最大震度5弱 土浦市
- ・5/30 M8.1 小笠原諸島西方沖 約682km 最大震度5強 神奈川県二宮町

イ 火山(気象庁発表の週間火山概況他)

注目:日本列島での火山活動が活発化している。

噴火に関する火山観測報 桜島、阿蘇山

- ・5/29 口永良部島 マグマ水蒸気噴火 全島避難
- ・5/30 桜島 爆発的噴火 今年600回目

噴火警戒レベル対象火山

- ・5/6 箱根山 火口周辺規制 「風評被害」の使い方
他の火山は別紙の週間火山概況による

ウ 風水害

- ・5/12 エルニーニョ監視速報 昨年に続き発生していると見られる。
- ・5/31 都心等の夏日が観測史上最多、暑かった5月。

[海外]

ア 地震(USGC発表、M7以上又は報道等で犠牲者多数)

- ・5/5 M7.5 パプア・ニューギニア 深さ41.5km
- ・5/7 M7.1 パプア・ニューギニア 深さ23.2km
- ・5/12 M7.3 ネパール 深さ15km 死者42人以上

イ 風水害

世界の異常気象速報(気象庁)

- ・5/25 竜巻、洪水 米テキサス州 非常事態宣言
- ・6/2 熱波 インド南部等 死者2,200人以上

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

- ・6/2 温室効果ガス削減目標(2013年比26%削減)決定

イ 自治体

ウ 被災地状況

- ・避難・転居者数(復興庁発表) 21万1976人 前月比-1151人 5/14現在

エ 総合防災訓練(9都県市他)

東京都	立川	9月1日	年4回	風水害	地震	津波	帰宅困難
千葉県	佐倉	8月29日		千葉市			
埼玉県	桶川	8月30日		さいたま市			
神奈川県	厚木	8月30日		横浜市	川崎市	相模原市	

1-4 災害ボランティアの動き

- ・ネパール大地震支援
- ・6/1 屋久島災害ボランティアセンター開設

1-5 注目すべきメディアと書籍、イベント等

・TV [NHK スベ] 6/13 シリーズ東日本大震災 介護危機を防げ 大川医師

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

本部講座 8,711 人 公認講座 1,860 人* 計 10,571 人 5/25 現在
講座開催と受講生確保の困難に直面→打開に向けた方策を

イ 本部主催の S L 養成事業

- ・[終了] 目白大学講座 5/9-10-16
- ・[予定] 上級講座 6/6-7-13
- ・[募集] 千葉市講座 7/8-16-17
- ・[募集] 一橋大講座 8/1-2-8
- ・[募集] 東大講座 8/9-15-16

ウ 大学等受託の S L 養成事業

- ・専修大、上智大、明治大、法政大

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

B、防災・減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

- ・[終了] S L 合同学習会 5/22
10 時 20 分 そなエリア
13 時 00 分 自治体総合フェア 林春男、田村圭子、澤野次郎
- ・[予定] S L 合同訓練 6/28

イ 本部受託の事業

ウ 他主催の事業への協力

C、各地域の災害ボランティア活動

- ・[終了] 千葉・南相馬被災地研修 5/23-24

D、その他

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業 (防災訓練事業)

ア 全体的な到達点

イ 特徴的な動き

- ・[終了] 自治体総合フェア 5/22 認定基準 ver2.5 公表

B、防災教育推進事業

ア 全体的な到達点

イ 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

- ・[報告] 実行委員会 5/29

ウ 防災教育普及協会事業

- ・[予定] 総会 6/24

エ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・学校での防災教育支援

以上